第3期京都府がん対策推進計画の進捗状況について（令和6年度）

施策の方向	指標分類	番号	再掲	指標	基準値	実績値 (令和6年度報告)	目標値 (令和11(2029)年度)	進捗状況	データソース	令和6年度の取組状況	今後の取組方針等
(1) がん予防・がん検診の強化											
	分野別アウトカム指標	A 1		がんの年齢調整死亡率（75歳未満 人口10万人対）	令和3（2021）年度 60.9	令和4（2022）年度 65.2	減少	—	国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）	食生活・身体活動・飲酒等生活習慣、たばこ対策、感染に起因するがん対策（ウイルス、細菌など）、検診の受診率向上、精度管理・検診従事者の資質向上に係る各施策を実施することにより、目標値の達成を目指す。	
【1次予防：がんのリスクの減少】											
①食生活・身体活動・飲酒等生活習慣											
	中間アウトカム指標	B 1		がん種別年齢調整罹患率（人口10万対）（胃）	令和元（2019）年度 45.5	令和2（2020）年度 39.1	減少	○	京都府がん実態調査報告書	食生活・身体活動・飲酒等生活習慣に係る各施策を実施することにより、目標値の達成を目指す。	
				がん種別年齢調整罹患率（人口10万対）（肺）	令和元（2019）年度 45.1	令和2（2020）年度 43.6	減少	○	京都府がん実態調査報告書		
				がん種別年齢調整罹患率（人口10万対）（大腸）	令和元（2019）年度 58.0	令和2（2020）年度 55.4	減少	○	京都府がん実態調査報告書		
				がん種別年齢調整罹患率（人口10万対）（女性乳房）	令和元（2019）年度 89.4	令和2（2020）年度 92.2	減少	—	京都府がん実態調査報告書		
	アウトプット指標	C 1		食塩摂取量の減少（20歳以上）	令和4（2022）年度 10.9g	令和4（2022）年度 10.9g	7.0g	/	府民健康・栄養調査	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所や関係団体等を通じた啓発活動 ・健康情報の府民への提供、健康データの分析・保健所等による市町村への伴走支援 ・医療従事者とがん経験者によるがん教育を実施 ・府医師会・栄養士会と連携した特定保健指導の従事者育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間企業や関係団体と連携し、府民への情報提供や健康づくりのための環境の整備 ・民間ノウハウを生かし健康づくりのためのインセンティブ制度を構築 ・がん教育の実施校数の拡大に向け、改めて事業の周知を行うとともに、年度当初や年度末の実施が増えるよう案内時期等を工夫 ・ICTを活用した健康づくり事業の推進
				野菜摂取量の平均（20歳以上）	令和4（2022）年度 234.1g	令和4（2022）年度 234.1g	350g	/	府民健康・栄養調査		
				運動習慣（週1回以上）のある者の割合（20-64歳、男性）	令和4（2022）年度 26.8%	令和4（2022）年度 26.8%	30.0%	/	府民健康・栄養調査		
				運動習慣（週1回以上）のある者の割合（20-64歳、女性）	令和4（2022）年度 18.3%	令和4（2022）年度 18.3%	30.0%	/	府民健康・栄養調査		
				運動習慣（週1回以上）のある者の割合（65歳以上、男性）	令和4（2022）年度 34.9%	令和4（2022）年度 34.9%	50.0%	/	府民健康・栄養調査		
				運動習慣（週1回以上）のある者の割合（65歳以上、女性）	令和4（2022）年度 32.4%	令和4（2022）年度 32.4%	50.0%	/	府民健康・栄養調査		
				生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合（男性）1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上の割合	令和4（2022）年度 14.4%	令和4（2022）年度 14.4%	13.0%	/	府民健康・栄養調査		
				生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合（女性）1日当たりの純アルコール摂取量が女性20g以上の者の割合	令和4（2022）年度 8.7%	令和4（2022）年度 8.7%	6.4%	/	府民健康・栄養調査		
				肥満者・やせの者の割合（%）（20-60歳代男性の肥満者）	令和4（2022）年度 29.7%	令和4（2022）年度 29.7%	28.0%	/	府民健康・栄養調査		
				肥満者・やせの者の割合（%）（20-30歳女性のやせの者）	令和4（2022）年度 12.6%	令和4（2022）年度 12.6%	10.0%	/	府民健康・栄養調査		
				食の健康づくり応援店の店舗数	令和4（2022）年度 804店舗	令和6（2024）年9月 806店舗	1,000店舗	—	京都府健康対策調べ		
				日常生活の平均歩行数（歩）（20-64歳男性）	令和4（2022）年度 7,277歩	令和4（2022）年度 7,277歩	8,000歩	/	府民健康・栄養調査		
				日常生活の平均歩行数（歩）（20-64歳女性）	令和4（2022）年度 5,824歩	令和4（2022）年度 5,824歩	8,000歩	/	府民健康・栄養調査		
				日常生活の平均歩行数（歩）（65歳以上男性）	令和4（2022）年度 5,721歩	令和4（2022）年度 5,721歩	6,000歩	/	府民健康・栄養調査		
				日常生活の平均歩行数（歩）（65歳以上女性）	令和4（2022）年度 4,746歩	令和4（2022）年度 4,746歩	6,000歩	/	府民健康・栄養調査		
				小中高等学校及び特別支援学校におけるがんを含めた健康教育の実施校数	令和4（2022）年度 105校	令和5（2023）年度 109校	全学校	—	健康対策調べ		
				特定保健指導の実施率（全保険者）	令和3（2021）年度 26.0%	令和4（2022）年度 26.8%	45.0%	/	特定健診・特定保健指導の実施状況		
				保険者とともに健康経営に取り組む企業数	令和5（2023）年度 337社	令和6（2024）年度 395社	500社	○	日本健康会議「健康づくりに取り組む5つの実行宣言」		

施策の方向	指標分類	番号	再掲	指標	基準値	実績値 (令和6年度報告)	目標値 (令和11(2029)年度)	進捗 状況	データソース	令和6年度の実績状況	今後の取組方針等
②たばこ対策											
	中間アウトカム指標	B 2	再掲	がん種別年齢調整罹患率（人口10万対）（胃）	令和元（2019）年度 45.5	令和2（2020）年度 39.1	減少	○	京都府がん実態調査報告書	たばこ対策に係る各施策を実施することにより、目標値の達成を目指す。	
			再掲	がん種別年齢調整罹患率（人口10万対）（肺）	令和元（2019）年度 45.1	令和2（2020）年度 43.6	減少	○	京都府がん実態調査報告書		
			再掲	がん種別年齢調整罹患率（人口10万対）（大腸）	令和元（2019）年度 58.0	令和2（2020）年度 55.4	減少	○	京都府がん実態調査報告書		
			再掲	がん種別年齢調整罹患率（人口10万対）（女性乳房）	令和元（2019）年度 89.4	令和2（2020）年度 92.2	減少	—	京都府がん実態調査報告書		
防煙（未成年者の喫煙防止）	アウトプット指標	C 2		小中高等学校及び特別支援学校における防煙教育の実施校数	令和4（2022）年度 124校	令和5（2024）年度 131校	200校	○	健康対策課調べ	・保健所での防煙教育を実施（22校） ・生命のがん教育の中で防煙教育を実施（令和5年度 109校）	継続して取組を実施
				20歳未満の者の喫煙率	—	—	—	—	—		
禁煙支援				禁煙治療を行っている医療機関数	令和5（2023）年度 365施設	令和6（2024）年度 357施設	460施設	—	診療報酬施設基準届出状況	・NPO京都禁煙推進研究会等と共催で、禁煙外来講習会を開催（R7.2.16） ・NPO京都禁煙推進研究会及び京都市と協働し、世界禁煙デーイベントを開催（R6.5.30～R6.6.5） ・世界禁煙デーイベントへの協力団体の拡充を図る等、啓発活動を強化	・NPO京都禁煙推進研究会等との共催による禁煙外来講習会にて医療機関へ周知を実施 ・世界禁煙デーイベントへの協力団体の拡充を図る等、啓発活動を強化
				禁煙支援薬局数	令和5（2023）年度 132施設	令和6（2024）年度 136施設	160施設	○	京都薬剤師会HP		
				喫煙率（全体）	令和4（2022）年度 13.2%	令和4（2022）年度 13.2%	12.3%	—	府民健康・栄養調査		
				喫煙率（男性）	令和4（2022）年度 21.3%	令和4（2022）年度 21.3%	19.8%	—	府民健康・栄養調査		
				喫煙率（女性）	令和4（2022）年度 5.8%	令和4（2022）年度 5.8%	5.4%	—	府民健康・栄養調査		
				妊娠中の喫煙率	令和3（2021）年度 2.1%	令和4（2022）年度 1.8%	0%	○	母子保健実施状況調査		
				受動喫煙の機会を有する者の割合（行政機関）	令和4（2022）年度 5.4%	令和4（2022）年度 5.4%	0%	—	府民健康・栄養調査		
受動喫煙防止				受動喫煙の機会を有する者の割合（医療機関）	令和4（2022）年度 6.4%	令和4（2022）年度 6.4%	0%	—	府民健康・栄養調査	・NPO京都禁煙推進研究会及び京都市と協働し、世界禁煙デーイベントを開催（R6.5.30～R6.6.5） ・各保健所において、施設に対して改正健康増進法に係る指導や相談を実施し、受動喫煙防止対策を推進 ・デジタルサイネージを活用した周知啓発（府内4箇所、R6.12.1～31） ・厚生労働省作成ポスターによる啓発	継続して取組を実施
				受動喫煙の機会を有する者の割合（職場）	令和4（2022）年度 18.1%	令和4（2022）年度 18.1%	受動喫煙のない職場の実現を目指す	—	府民健康・栄養調査		
				受動喫煙の機会を有する者の割合（家庭）	令和4（2022）年度 5.8%	令和4（2022）年度 5.8%	3.0%	—	府民健康・栄養調査		
				受動喫煙の機会を有する者の割合（飲食店）	令和4（2022）年度 19.5%	令和4（2022）年度 19.5%	15.0%	—	府民健康・栄養調査		
③感染に起因するがん対策（ウイルス、細菌など）											
	中間アウトカム指標	B 3		がん種別年齢調整罹患率（人口10万対）（肝）	令和元（2019）年度 12.2	令和2（2020）年度 11.3	減少	○	京都府がん実態調査報告書	感染に起因するがん対策（ウイルス、細菌など）に係る各施策を実施することにより、目標値の達成を目指す。	
				がん種別年齢調整罹患率（人口10万対）（子宮頸部）	令和元（2019）年度 12.2	令和2（2020）年度 13.0	減少	—	京都府がん実態調査報告書		
肝炎対策	アウトプット指標	C 3		啓発資料配布新規申込件数	令和4（2022）年 30件	令和5（2023）年 44件	50件	○	健康対策課調べ	・ホームページでの情報提供 ・検査実施機関の拡充 108施設→110施設 ・肝炎コーディネーター養成研修の実施（オンライン・オンデマンド方式） ・府立医大、京大の相談窓口で相談実施 ・肝炎ウイルス検査ラジオ啓発の実施	継続して取組を実施
				肝炎ウイルス検査数	令和3（2021）年 10,842件	令和4（2022）年 9,522件	14,000件	—	健康対策課調べ		
				肝炎コーディネーター養成者数	令和4（2022）年 251人	令和6（2024）年 453人	500人	○	健康対策課調べ		
				肝炎患相談センターの相談件数	令和4（2022）年 54件	令和5（2023）年 83件	100件	○	健康対策課調べ		

施策の方向		指標分類	番号	再掲	指標	基準値		実績値 (令和6年度報告)		目標値 (令和11(2029)年度)	進捗 状況	データソース	令和6年度の実施状況	今後の取組方針等
子宮頸がん予防対策	○子宮頸がん検診及びHPVワクチン接種の啓発強化				子宮頸がん検診受診率	令和4(2022)年度	38.8%	令和4(2022)年度	38.8%	60.0%	/	国民生活基礎調査	<ul style="list-style-type: none"> ・府内小中高等学校でのがん教育において、HPVワクチン及び子宮頸がんに関する情報提供を実施 ・府内市町村成人式や大学、乳幼児健診での子宮頸がん検診及びHPVワクチン接種に関する情報提供を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、様々な機会を捉えて、HPVワクチン及び子宮頸がんに関する情報提供を実施 ・がん教育の実施校数の拡大に向け、改めて事業の周知を行うとともに、年度当初や年度末の実施が増えるよう案内時期等を工夫
				再掲	小中高等学校及び特別支援学校におけるがんを含めた健康教育の実施校数	令和4(2022)年度	105校	令和5(2023)年度	109校	全学校	—	健康対策課調べ		

施策の方向		指標分類	番号	再掲	指標	基準値	実績値 (令和6年度報告)		目標値 (令和11(2029)年度)	進捗 状況	データソース	令和6年度取組状況	今後の取組方針等	
【2次予防：がんの早期発見、がん検診】														
①検診の受診率向上														
	中間アウトカム指標	B 4			胃がん検診受診率	令和4(2022)年度	35.9%	令和4(2022)年度	35.9%	60.0%	/	国民生活基礎調査	<ul style="list-style-type: none"> マンガを活用した検診啓発の実施 日本郵便株式会社、金融機関、生命保険株式会社と連携した検診ガイド等の配布 NPOや学校、企業と連携した検診啓発イベントの実施(ピンクリボン京都、リレー・フォーライフ・ジャパン京都) がん検診強化月間(9月~11月)を設定し、市町村、関係団体等と連携した受診キャンペーンを実施 	検診の受診率向上に係る各施策を実施するとともに、関係団体と連携した受診啓発、受診勧奨を継続し、目標達成を目指す。
					肺がん検診受診率	令和4(2022)年度	42.0%	令和4(2022)年度	42.0%	60.0%	/	国民生活基礎調査		
					大腸がん検診受診率	令和4(2022)年度	39.6%	令和4(2022)年度	39.6%	60.0%	/	国民生活基礎調査		
					乳がん検診受診率	令和4(2022)年度	42.9%	令和4(2022)年度	42.9%	60.0%	/	国民生活基礎調査		
					再掲 子宮頸がん検診受診率	令和4(2022)年度	38.8%	令和4(2022)年度	38.8%	60.0%	/	国民生活基礎調査		
受診率向上のため の啓発	アウトプット指標	C 4			受診率向上部会の開催状況	令和4(2022)年度	0	令和6(2024)年度	1回(今年度中に開催予定)	毎年1回	—	健康対策課調べ	各団体の受診率向上に係る取組を共有予定	継続的に開催、連携事項の検討
					がん検診と特定健診等同時受診を実施している市町村数	令和5(2023)年度	23市町村	令和6(2024)年度	24市町村	26市町村	○	健康対策課調べ	<ul style="list-style-type: none"> 市町村等がん検診担当者を対象とした研修会等で、実施状況や好事例等を共有 土日セット検診についてH25から補助制度を設け推奨(令和5年度11市町に対して補助) 京都府生活習慣病検診等管理指導協議会がん検診部会を開催し、市町村及び検診機関における精度管理を実施 	市町村の実施状況を把握し、同時受診の実施を推進
					休日・夜間検診体制をもつ市町村数	令和5(2023)年度	24市町村	令和6(2024)年度	24市町村	26市町村	—	健康対策課調べ		
					「がん予防重点健康教育及びがん検診実施の指針」に基づく検診実施率	令和5(2023)年度	81.8%	令和6(2024)年度	80.3%	100%	—	市区町村におけるがん検診の実施状況調査		
環境 診 づ く り す い														
②精度管理・検診従事者の資質向上														
	中間アウトカム指標	B 5			精検受診率(胃がん・バリウム)	令和2(2020)年度	85.8%	令和3(2021)年度	82.1%	100%	—	地域保健・健康増進事業報告	精度管理・検診従事者の資質向上に係る各施策を実施することともに、市町村や関係団体と連携した受診啓発、受診勧奨を継続し、目標値の達成を目指す。	
					精検受診率(胃がん・内視鏡)	令和2(2020)年度	79.1%	令和3(2021)年度	80.4%	100%	—	地域保健・健康増進事業報告		
					精検受診率(肺がん)	令和2(2020)年度	86.8%	令和3(2021)年度	89.1%	100%	○	地域保健・健康増進事業報告		
					精検受診率(大腸がん)	令和2(2020)年度	74.2%	令和3(2021)年度	70.9%	100%	—	地域保健・健康増進事業報告		
					精検受診率(乳がん)	令和2(2020)年度	94.8%	令和3(2021)年度	94.6%	100%	—	地域保健・健康増進事業報告		
					精検受診率(子宮頸がん)	令和2(2020)年度	83.2%	令和3(2021)年度	83.5%	100%	—	地域保健・健康増進事業報告		
					がん発見率(胃がん・バリウム)	令和2(2020)年度	0.10%	令和3(2021)年度	0.06%	0.11%以上	—	地域保健・健康増進事業報告		
					がん発見率(胃がん・内視鏡)	令和2(2020)年度	0.43%	令和3(2021)年度	0.51%	0.11%以上	○	地域保健・健康増進事業報告		
					がん発見率(肺がん)	令和2(2020)年度	0.03%	令和3(2021)年度	0.05%	0.03%以上	○	地域保健・健康増進事業報告		
					がん発見率(大腸がん)	令和2(2020)年度	0.23%	令和3(2021)年度	0.21%	0.13%以上	○	地域保健・健康増進事業報告		
					がん発見率(乳がん)	令和2(2020)年度	0.28%	令和3(2021)年度	0.36%	0.23%以上	○	地域保健・健康増進事業報告		
					がん発見率(子宮頸がん)	令和2(2020)年度	0.02%	令和3(2021)年度	0.01%	0.05%以上	—	地域保健・健康増進事業報告		
					再掲	がん種別年齢調整罹患率(人口10万対)(胃)	令和元(2019)年度	45.5	令和2(2020)年度	39.1	減少	○		京都府がん実態調査報告書
					再掲	がん種別年齢調整罹患率(人口10万対)(肺)	令和元(2019)年度	45.1	令和2(2020)年度	43.6	減少	○		京都府がん実態調査報告書
					再掲	がん種別年齢調整罹患率(人口10万対)(大腸)	令和元(2019)年度	58.0	令和2(2020)年度	55.4	減少	○		京都府がん実態調査報告書
					再掲	がん種別年齢調整罹患率(人口10万対)(女性乳房)	令和元(2019)年度	89.4	令和2(2020)年度	92.2	減少	—		京都府がん実態調査報告書

施策の方向	指標分類	番号	再掲	指標	基準値		実績値 (令和6年度報告)		目標値 (令和11(2029)年度)	進捗 状況	データソース	令和6年度 の取組状況	今後の取組方針等
○市町村や検診事業者等従事者へのがん検診の実施方法の改善等に係る働きかけ・助言等 ○市町村や検診事業者等従事者への研修を実施 ○府民に対する精度管理・事業評価結果に関する情報提供	アウトプット指標	C5		がん検診事業評価のためのチェックリスト80%以上遵守している市町村数	令和3(2021)年度 12市町村	令和5(2023)年度 17市町村	26市町村	○	がん検診事業評価のためのチェックリスト	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府生活習慣病検診等管理指導協議会がん検診部会を開催し、市町村及び検診機関における精度管理を実施 ・市町村等がん検診担当者を対象とした研修会を開催予定(令和7年3月予定) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村及び検診機関のチェックリストやプロセス指標を分析し、必要に応じて改善等の働きかけを実施 		
				京都府生活習慣病検診等管理指導協議会がん検診部会のホームページへの掲載状況	令和4(2022)年度 1回	令和6(2024)年度 1回 (R7年3月予定)	毎年1回	○	健康対策調べ				
				がん検診従事者研修会参加自治体数	令和4(2022)年度 24市町村	令和5(2023)年度 25市町村	26市町村	○	健康対策調べ				
			再掲	「がん予防重点健康教育及びがん検診実施の指針」に基づく検診実施率	令和5(2023)年度 81.8%	令和6(2024)年度 80.3%	100%	—	市区町村におけるがん検診の実施状況調査				

施策の方向		指標分類	番号	再掲	指標	基準値		実績値 (令和6年度報告)		目標値 (令和11(2029)年度)	進捗 状況	データソース	令和6年度の実績状況	今後の取組方針等	
(2) がん医療体制の整備・充実															
		分野別アウトカム指標	A 2		がん5年純生存率	令和2(2020)年度	68.4%	令和2(2020)年度	68.4%	増加	/	全国がん登録/院内がん登録	手術療法、放射線療法、薬物療法、免疫療法の推進、緩和ケア・支持療法の推進、在宅医療の充実、連携体制の強化、小児がん及びAYA世代のがん対策、その他治療機能の充実、がんゲノム医療の普及、その他治療機能の充実、新規医薬品、医療機器及び医療技術の速やかな医療実装に係る各施策を実施することにより、目標値の達成を目指す。		
					現在自分らしい日常生活を送れていると感じる人の割合	平成30(2018)年度	71.7%	平成30(2018)年度	71.7%	増加	/	患者体験調査			
①手術療法、放射線療法、薬物療法、免疫療法の推進															
		中間アウトカム指標	B 6		全ての二次医療圏にがん診療連携拠点病院を整備	令和5(2023)年4月	4医療圏	令和6(2024)年4月	4医療圏	全二次医療圏(6医療圏)	—	健康対策課調べ	現況報告書や京都府がん医療戦略推進会議等で課題を把握し、病院への働きかけや国への要望、必要な医療機能の整備推進により均てん化を進め、がん診療連携拠点病院の整備を目指す。		
治療提供体制の強化	○拠点病院等の機能強化の支援 ○拠点病院等と地域医療機関の連携強化の支援 ○地域連携クリティカルパスの利用促進 ○専門医療機関連携薬局(がん)の認定	アウトプット指標	C 6		京都府がん医療戦略推進会議の開催	令和5(2023)年9月	1回	令和6(2024)年7月	1回	毎年1回	○	健康対策課調べ	・第14回京都府がん医療戦略会議を開催(R6.7.23) ・連携医療機関リストの更新 ・京都府がん医療戦略推進会議地域連携部会で各拠点病院の運用状況を確認 ・地域連携薬局推進事業により、認定取得促進や周知・啓発を実施	・引き続き、がん医療戦略会議において、京都府のがん医療水準を向上させるための方針等について検討 ・がんの地域連携パスの利用促進のため、先進事例や活用実績の多い医療機関の取組を共有し、運用促進に取り組む ・継続して取組を実施	
					地域連携クリティカルパスの適用件数	令和4(2022)年	405件	令和5(2023)年	537件/年	900件/年	○	健康対策課調べ			
					専門医療機関連携薬局(がん)の認定数	令和4(2022)年	2施設	令和6(2024)年12月	3施設	7施設	○	業務課調べ			
					全ての二次医療圏において、がん診療連携拠点病院による、地域の診療従事者を対象とした研修やカンファレンスを定期的開催	令和5(2023)年4月	4医療圏	令和6(2024)年4月	6医療圏	全二次医療圏(6医療圏)	○	がん診療連携拠点病院等の現況報告書			各がん診療連携拠点病院や京都府がん診療連携病院において研修やカンファレンスを実施
養成・従事者確保の推進	○拠点病院での専門性の高い医療従事者の育成・確保 ○大学病院の育成機能支援 ○ICTやe-learningなどを活用した受講しやすい環境整備														
②緩和ケア・支持療法の推進															
		中間アウトカム指標	B 7		身体的なつらさがある時に、すぐ医療スタッフに相談できる人の割合	平成30(2018)年度	50.4%	平成30(2018)年度	50.4%	増加	/	患者体験調査	緩和ケアチームの普及・啓発	がん診療に携わる全ての医療従事者が基本的な緩和ケアを理解し、知識と技術を習得できる体制づくり。	
専門的な緩和ケア提供体制の整備	○緩和ケアチーム、緩和ケア外来の設置推進 ○緩和ケアに係る拠点病院と地域医療機関の連携強化	アウトプット指標	C 7		緩和ケアチームの設置数	令和2(2020)年	30施設	令和5(2023)年	26施設	45施設	—	医療施設調査	・病院・訪問看護ステーション看護師に対しエンド・オブ・ライフ・ケアに関する研修を実施 ・緩和ケア研修(PEACEやELNEC)を通じて、緩和ケアを担う専門医や看護師を育成	研修を継続するとともに、京都府がん医療戦略推進会議緩和ケア部会において好事例を共有	
					緩和ケアチーム取扱患者数	令和2(2020)年	616人/月	令和5(2023)年	484人/月	900人/月	—	医療施設調査			
					がん診療連携拠点病院における緩和ケア外来への地域医療機関からの新規紹介数	令和4(2022)年	344人	令和5(2023)年	388人	1,032人	—	がん診療連携拠点病院等の現況報告書			
					がん診療連携拠点病院における緩和ケア外来の新規診察患者数	令和4(2022)年	1,053人	令和5(2023)年	1,116人	1,580人	○	がん診療連携拠点病院等の現況報告書			各研修会へ助成、府ホームページでの広報、修了書発行事務等の支援
人材育成・確保	○緩和ケア研修会の実施支援、受講者増加の取組 ○緩和ケアや在宅医療に関する普及啓発				拠点病院等における緩和ケア研修会(PEACE)修了者数	令和4(2022)年	3,759人	令和5(2023)年	4,004人	5,500人	○	健康対策課調べ			
					緩和ケア病棟が整備されているがん診療連携拠点病院のある医療圏	令和4(2022)年	3医療圏	令和5(2023)年	3医療圏	全医療圏	—	がん診療連携拠点病院等の現況報告書	緩和ケアに対する診療報酬が十分でなく、体制維持が困難な点も踏まえ、国に対して要望	緩和ケアの重要性を病院経営層に対して理解を深めるための施策について部会で議論	
病棟整備	○整備の働きかけ・整備支援 ○病棟における実地研修など専門性の高い人材育成				身体的、精神的、社会的苦痛に対する緩和症例数	令和3(2021)年	350.6件/月	令和5(2023)年	165.8件/月	増加	—	がん診療連携拠点病院等の現況報告書	医療従事者向け緩和ケア研修会への支援(PEACE、ELNEC)	研修を継続するとともに、緩和ケア部会で取組の共有	
支持療法の推進	○支持療法診療ガイドラインの医療機関への周知 ○府民等に対する情報提供の推進														
③在宅医療の充実															
		中間アウトカム指標	B 8		望んだ場所で過ごせた患者の割合	令和元(2019)年度	65.7%	令和元(2019)年度	65.7%	増加	/	遺族調査	在宅医療の充実に係る各施策を実施することにより、目標値の達成を目指す。		
在宅緩和ケアに係る研修の実施 在宅緩和ケア等に係る地域資源の把握と情報共有		アウトプット指標	C 8		かかりつけ医(がん対応力)向上研修会の開催	令和4(2022)年	1回	令和6(2024)年	1回	1回	○	健康対策課調べ	かかりつけ医(がん対応力)向上研修会を開催予定(R7.3.29)	継続して取組を実施	
				再掲	全ての二次医療圏において、がん診療連携拠点病院による、地域の診療従事者を対象とした研修やカンファレンスを定期的開催	令和5(2023)年4月	4医療圏	令和6(2024)年4月	6医療圏	全医療圏	○	がん診療連携拠点病院等の現況報告書	各がん診療連携拠点病院や京都府がん診療連携病院において研修やカンファレンスを実施	各がん診療連携拠点病院等において継続して取組を実施	

施策の方向	指標分類	番号	再掲	指標	基準値	実績値 (令和6年度報告)	目標値 (令和11(2029)年度)	進捗 状況	データソース	令和6年度の実現状況	今後の取組方針等	
(3) がんとの共生社会の実現												
	分野別アウトカム指標	A 3	再掲	現在自分らしい日常生活を送れていると感じる人の割合	平成30(2018)年度	71.7%	平成30(2018)年度	71.7%	増加	患者体験調査	相談支援体制、情報提供体制の充実、就労支援の強化、社会的な問題への対応の充実、小児・AYA世代、高齢者に対する支援の強化、アピアランスケア、がん診断後の自殺対策に係る各施策を実施することにより、目標値の達成を目指す。	
①相談支援体制、情報提供体制の充実												
	中間アウトカム指標	B 14		ピアサポートの認知度	平成30(2018)年度	27.3%	平成30(2018)年度	27.3%	増加	患者体験調査	がんピアサポートに関する研修を実施し、意義などの情報発信も併せて行う。 医療機関や福祉施設などの専門家と連携し、がんピアサポートの重要性を広めるための活動を実施する。	
			再掲	がん相談支援センターを知っている人の割合	平成30(2018)年度	59.5%	平成30(2018)年度	59.5%	増加	患者体験調査		
○がん相談支援センターと院内多職種との連携強化 ○利用しやすい相談窓口の設置、オンライン相談体制の強化 ○がんに関する情報冊子の周知 ○相談支援センターと就労支援窓口等の関係機関の連携強化 ○ピア・サポーター養成講座修了者の活用の推進	アウトプット指標	C 14	再掲	がん相談支援センターへの相談件数	令和4(2022)年	2,528件/月	令和5(2023)年度	2,377件/月	4,000件/月	—	健康対策課調べ	・がん相談支援センターの人員配置に対する助成 ・京都府がん診療連携拠点病院の国立がん研究センター実施研修受講を支援 ・京都府がん総合相談支援センターを設置し、相談を実施(H25.8~) ・長期療養者就職支援の一環としてハローワークによる都道府県がん診療連携拠点病院への出張相談を実施 引き続き、相談支援部会で議論を深め、継続して取組を実施
				がん相談支援センターへのオンライン相談件数	令和4(2022)年	2件	令和5(2023)年度	2件	50件	—	健康対策課調べ	
				相談員体制、専門機関との連携	令和3(2021)年	12病院	令和5(2023)年	11病院	21病院	—	がん診療連携拠点病院等の現況報告書	
				関係機関との連携及び自院以外からの相談受入体制	令和3(2021)年	12病院	令和5(2023)年	11病院	21病院	—	がん診療連携拠点病院等の現況報告書	
				がん診療連携拠点病院等での患者サロンにおけるピア・サポーター養成講座修了者の活用の推進	—	—	—	—	25人	—	健康対策課調べ	
②就労支援の強化												
	中間アウトカム指標	B 15		就労支援相談件数	令和3(2021)年	78.4件/月	令和5(2023)年	100件/月	増加	○	がん診療連携拠点病院等の現況報告書	がんの治療と仕事の両立支援の取組を進める。
○がんが診断された時から就労相談を受けられるよう関係機関の連携強化 ○治療に伴う外見変化への支援	アウトプット指標	C 15		就労に関する相談体制	令和3(2021)年	12病院	令和5(2023)年	11病院	21病院	—	がん診療連携拠点病院等の現況報告書	・各病院に対し、令和6年度「治療と仕事の両立支援シンポジウム」開催を周知など研修参加を推進 ・国に採択されたアピアランスモデル支援事業の取組みや成果を通して、均てん化を推進 がんの治療と仕事の両立支援について相談支援部会で議論、情報共有を進める。
				アピアランスに関する相談に院内で対応する体制	令和3(2021)年	12病院	令和5(2023)年	11病院	21病院	—	がん診療連携拠点病院等の現況報告書	
			再掲	関係機関との連携及び自院以外からの相談受入体制	令和3(2021)年	12病院	令和5(2023)年	11病院	21病院	—	がん診療連携拠点病院等の現況報告書	
③社会的な問題への対応の充実												
	中間アウトカム指標	B 16		自施設以外の患者、家族、地域住民からの相談件数	令和3(2021)年	292.8件/月	令和5(2023)年	158.2件/月	増加	—	がん診療連携拠点病院等の現況報告書	相談窓口をリーフレット等により周知 相談窓口の認知度を高めるための議論を相談支援部会で進める。
○関係機関等との連携強化 ○相談支援や情報提供の充実	アウトプット指標	C 16	再掲	関係機関との連携及び自院以外からの相談受入体制	令和3(2021)年	12病院	令和5(2023)年	11病院	21病院	—	がん診療連携拠点病院等の現況報告書	京都府がん医療戦略推進会議相談支援部会を開催(R6.7.22、12.4) 引き続き、相談支援部会で議論を深め、継続して取組を実施
④小児・AYA世代、高齢者に対する支援の強化												
	中間アウトカム指標	B 17	再掲	がん患者の家族の悩みや負担を相談できる支援・サービス・場所有ると感じる人の割合	平成30(2018)年度	43.1%	平成30(2018)年度	43.1%	増加	患者体験調査	小児・AYA世代、高齢者に対する支援の強化に係る各施策を実施することにより、目標値の達成を目指す。	
小児に・ついでAYA世代	アウトプット指標	C 17	再掲	小児がん拠点病院・府主催の小児がんシンポジウムの開催	令和4(2022)年8月	1回	令和7(2025)年3月(予定)	1回	毎年1回	○	健康対策課調べ	・小児がん拠点病院公開シンポジウムを開催(R7.3.22) ・小児がん拠点病院の連携会議を開催(R6.4.26) ・生殖機能温存療法等助成事業【R6(R7.1.15時点):34件】 ・小児がん拠点病院と小児がん連携病院における患者及び家族ニーズ調査等をもとに取組を強化
			再掲	がん相談支援センターを知っている人の割合	平成30(2018)年度	59.5%	平成30(2018)年度	59.5%	増加	患者体験調査		
高齢者について				治療における患者さんの希望は尊重されたと感じる人の割合	平成30(2018)年度	73.8%	平成30(2018)年度	73.8%	増加	患者体験調査	がん相談支援センターによる情報提供を実施 ・がん診療連携拠点病院が主体となって行う、認知機能が低下している高齢者等への意識決定支援や、地域のかかりつけ医や介護を担う機関等との連携体制構築について、拠点病院間の情報共有等で支援	

施策の方向	指標分類	番号	再掲	指標	基準値	実績値 (令和6年度報告)	目標値 (令和11(2029)年度)	進捗 状況	データソース	令和6年度の実績状況	今後の取組方針等
⑤アピアランスケアについて											
	中間アウトカム指標	B18		がん治療による外見の変化(脱毛や皮膚障害などを含む)に関する悩みを誰かに相談できた人の割合	平成30(2018)年度 25.0%	平成30(2018)年度 25.0%	増加	/	患者体験調査	アピアランスケアに係る各施策を実施することにより、目標値の達成を目指す。	
○アピアランスケアを必要とする患者等の実態を把握、支援制度の検討	アウトプット指標	C18	再掲	がん相談支援センターへの相談件数	令和4(2022)年 2,528件/月	令和5(2023)年度 2,377件/月	4,000件/月	—	健康対策課調べ	・各病院に対し、令和6年度「治療と仕事の両立支援シンポジウム」開催を周知など研修参加を推進 ・国に採択されたアピアランスモデル支援事業の取組みや成果を通して、均てん化を推進	がんの治療と仕事の両立支援について相談支援部会で議論、情報共有を進める。
⑥がん診断後の自殺対策について											
	中間アウトカム指標	B19		身体の苦痛や気持ちのつらさを和らげる支援を十分に受けることができたと感じる人の割合	平成30(2018)年度 42.1%	平成30(2018)年度 42.1%	増加	/	患者体験調査	がん診断後の自殺対策に係る各施策を実施することにより、目標値の達成を目指す。	
○がん患者への相談支援及び情報提供の充実	アウトプット指標	C19		つらい症状にすみやかに対応してくれたと感じる人の割合	平成30(2018)年度 77.2%	平成30(2018)年度 77.2%	増加	/	患者体験調査	医療従事者向け緩和ケア研修会への支援(PEACE、ELNEC)	研修を継続するとともに、緩和ケア部会で取組の共有
			再掲	身体的、精神的、社会的苦痛に対する緩和症例数	令和3(2021)年 350.6件/月	令和5(2023)年 165.8件/月	増加	—	がん診療連携拠点病院等の現況報告書		

施策の方向	指標分類	番号	再掲	指標	基準値	実績値 (令和6年度報告)		目標値 (令和11(2029)年度)	進捗 状況	データソース	令和6年度の実績	今後の取組方針等
(4) これらを支える基盤の整備												
	分野別アウトカム指標	A4	再掲	がんの年齢調整死亡率(75歳未満 人口10万人対)	令和3(2021)年度	60.9	令和4(2022)年度	65.2	減少	—	国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(人口動態統計)	人材育成の強化、がん教育・がんの正しい知識の普及啓発の推進、がん登録の推進、患者・府民参画の推進、デジタル化の推進、感染症発生・まん延時や災害時を見据えた対策に係る各施策を実施することにより、目標値の達成を目指す。
			再掲	がん5年純生存率	令和2(2020)年度	68.4%	令和2(2020)年度	68.4%	増加	—	全国がん登録/院内がん登録	
			再掲	現在自分らしい日常生活を送れていると感じる人の割合	平成30(2018)年度	71.7%	平成30(2018)年度	71.7%	増加	—	患者体験調査	
①人材育成の強化												
	中間アウトカム指標	B20	再掲	全ての二次医療圏にがん診療連携拠点病院を整備	令和5(2023)年4月	4医療圏	令和6(2024)年4月	4医療圏	全二次医療圏(6医療圏)	—	がん診療連携拠点病院等の現況報告書	人材育成の強化に係る各施策を実施することにより、目標値の達成を目指す。
○拠点病院等における専門的な人材の育成及び配置	アウトプット指標	C20	再掲	がん検診従事者研修会参加自治体数	令和4(2022)年度	24市町村	令和5(2023)年度	24市町村	26市町村	—	健康対策課調べ	・市町村等がん検診担当者を対象とした研修会を開催予定(令和7年3月予定) ・各研修会へ助成、府ホームページでの広報、修了書発行事務等の支援
			再掲	拠点病院等における緩和ケア研修会(PEACE)修了者数	令和4(2022)年	3,759人	令和5(2023)年	4,004人	5,500人	○	健康対策課調べ	
②がん教育・がんの正しい知識の普及啓発の推進												
	中間アウトカム指標	B21		「がんは誰もがかかる可能性のある病気である」に対して「正しい」と回答した人の割合	—	—	令和6(2024)年10月	97%	全受講生	○	健康対策課調べ	がん教育・がんの正しい知識の普及啓発の推進に係る各施策を実施することにより、目標値の達成を目指す。
				「がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う」に対して「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合	—	—	令和6(2024)年10月	96%	全受講生	○	健康対策課調べ	
○がん教育環境の整備 ○府民へのがんに関する知識の普及啓発	アウトプット指標	C21	再掲	小中高等学校及び特別支援学校におけるがんを含めた健康教育の実施校数	令和4(2022)年度	105校	令和6(2024)年12月	65校	全学校	—	健康対策課調べ	・がん検診受診率向上等の取組に積極的な企業の認証、表彰の実施 ・企業向けがん教育実施 R6:1社
				きょうと健康づくり実践企業等がん検診受診率向上などの健康づくりに取り組む企業数	令和4(2022)年度	71社	令和6(2024)年12月	75件	200社	○	健康対策課調べ	
③がん登録の推進												
	中間アウトカム指標	B22		—	—	—	—	—	—	指標なし	—	
○医療機関の届出の推進 ○登録情報の精度向上 ○がん登録の意義・内容の啓発	アウトプット指標	C22		精度の高いがん登録の実施(DCO割合)	令和元(2019)年	1.72%	令和2(2020)年	1.44%	1%未満	○	京都府がん実態調査報告書	全国がん登録の精度向上のため、医療機関からの届出を推進
				指定診療所の届出をサポートする手段について検討していく。								
④患者・府民参画の推進												
	中間アウトカム指標	B23		—	—	—	—	—	—	指標なし	—	
○患者・市民参画の更なる推進に向けた仕組みを検討	アウトプット指標	C23		がんピア・サポーター養成講座の開催	—	—	令和6(2024)年度	開催	毎年	○	健康対策課調べ	がんピア・サポーター養成講座を開催(R6.7.31)
				継続して取組を実施								
⑤デジタル化の推進												
	中間アウトカム指標	B24		—	—	—	—	—	—	指標なし	—	
○ICTやAIを含むデジタル技術の活用による医療のデータ化とその利活用の推進について検討	アウトプット指標	C24	再掲	がん相談支援センターへのオンライン相談件数	令和4(2022)年	2件	令和5(2023)年度	2件	50件	—	健康対策課調べ	・がん相談支援センターの人員配置に対する助成 ・京都府がん診療連携病院の国立がん研究センター実施研修受講を支援 ・京都府がん総合相談支援センターを設置し、相談を実施(H25.8~)
				引き続き、相談支援部会で議論を深め、継続して取組を実施								
⑥感染症発生・まん延時や災害時を見据えた対策												
	中間アウトカム指標	B25		—	—	—	—	—	—	指標なし	—	
○感染症発生・まん延時や災害時等の状況下においても、必要ながん医療を提供できるような体制整備の推進	アウトプット指標	C25		—	—	—	—	—	—	指標なし	—	京都府がん医療戦略会議において、BCPに関する課題・対策等について共有
				継続して取組を実施								